

平成23年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月6日

上場取引所 JQ

上場会社名 カネコ種苗株式会社
 コード番号 1376 URL <http://www.kanekoseeds.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 正明

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務部長 (氏名) 長谷 浩克

四半期報告書提出予定日 平成22年10月14日

TEL 027-251-1619

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年5月期第1四半期の連結業績(平成22年6月1日～平成22年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年5月期第1四半期	12,612	23.3	294	48.0	298	49.1	167	43.1
22年5月期第1四半期	10,228	1.4	198	△19.9	200	△24.6	117	△15.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年5月期第1四半期	14.39	—
22年5月期第1四半期	10.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年5月期第1四半期	33,637	11,005	32.5	938.28
22年5月期	36,982	11,011	29.6	939.67

(参考) 自己資本 23年5月期第1四半期 10,941百万円 22年5月期 10,957百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年5月期	—	7.00	—	12.00	19.00
23年5月期	—				
23年5月期(予想)		8.00	—	12.00	20.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年5月期の連結業績予想(平成22年6月1日～平成23年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,000	16.5	300	16.1	320	22.3	180	33.8	15.44
通期	52,000	13.1	1,650	2.3	1,710	3.1	1,000	1.9	85.76

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）
① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年5月期1Q 11,772,626株 22年5月期 11,772,626株
② 期末自己株式数 23年5月期1Q 111,744株 22年5月期 111,625株
③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年5月期1Q 11,660,971株 22年5月期1Q 11,661,248株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、【添付資料】3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書（累計期間）	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) セグメント情報	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益や個人消費に改善の動きがみられるものの、円高の進行により輸出企業を中心として業績不安感が強まっていることや、依然として失業率が高水準にとどまるなど引き続き不透明感が拭えない状況にあります。また、国内農業の状況は、農業就業人口が過去20年間で半減するとともに平均年齢が65歳を超え、かつ、耕作放棄地の増加が続くなど、人、農地の両面から衰退が進むなか、特に今夏は猛暑の影響から農産物の作柄が悪化し、農業を取り巻く環境は更に厳しくなっております。こうしたなか、当第1四半期連結会計期間の連結業績は、今年より株式会社ベルデ九州が連結子会社となったことや、農材事業及び施設材事業で増収となった影響等により、売上高126億12百万円で前年同期比23億83百万円（23.3%）増、営業利益2億94百万円で前年同期比95百万円（48.0%）増、経常利益2億98百万円で前年同期比98百万円（49.1%）増、四半期純利益1億67百万円で前年同期比50百万円（43.1%）増となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(種苗事業)

種苗事業においては、ダイコン種子の国内販売減や、輸出関係で円高となったことに伴う円ベースでの目減りがあったものの、国内販売でタマネギ・ハクサイの野菜種子や芝草種子、輸出でキャベツ種子の販売増でカバーし、売上高16億41百万円で前年同期比1.5%の増収となりました。

(花き事業)

花き事業においては、球根・種が減収となったものの、野菜苗等が家庭菜園向け需要を反映して増収となったこと等によりカバーし、売上高23億23百万円で前年同期比4.4%の増収となりました。

(農材事業)

農材事業においては、新たに株式会社ベルデ九州が連結子会社となったことや病害虫の発生が多発したことによる需要増、また、得意先のニーズを捉えた営業展開により、売上高61億38百万円で前年同期比33.0%の大幅増収となりました。

(施設材事業)

施設材事業においては、新たに株式会社ベルデ九州が連結子会社となったことや営業社員増員による販売網の拡充等が功を奏したことに加え、猛暑による遮光・灌水資材の需要増や値上がりが見込まれる農業ハウス用鉄鋼製品の駆込み需要、さらには、主要産地において当社の養液栽培プラントの優位性が評価され、売上高24億45百万円で前年同期比42.6%の大幅増収となりました。

(造園事業)

売上高61百万円で前年同期比増収となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態の変動状況

当第1四半期連結会計期間末における「資産の部」の残高は、336億37百万円となり、前連結会計年度末と比較して33億44百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金や商品の減少によるものであります。

また「負債の部」の残高は、226億32百万円となり、前連結会計年度末と比較して33億39百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が減少したことによるものであります。

「純資産の部」の残高は、110億5百万円となり、前連結会計年度末と比較して微減となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は26億56百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億4百万円増加いたしました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に仕入債務の減少額が売上債権の減少額を上回ったことにより、資金は27億8百万円減少（前年同期比134.5%増）いたしました。

営業活動により不足した資金を短期借入金で調達したため、財務活動によるキャッシュ・フローは30億43百万円増加（前年同期比27.0%増）いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期については、施設材事業等で大幅増収となったことなどから順調な業績の推移となり、今後も業績予想から大きく乖離するような変化は予想しておりません。従いまして、業績予想については、平成22年5月期決算発表時（平成22年7月15日）公表の数値に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

(イ) 一般債権の貸倒見積高の算定方法については、当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

(ロ) たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

2. 特有の会計処理

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1. 会計処理基準に関する事項の変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

なお、これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

2. 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,045,423	2,740,926
受取手形及び売掛金	16,710,828	19,963,533
商品	4,467,630	5,087,632
その他	1,526,666	1,264,346
貸倒引当金	△69,298	△80,893
流動資産合計	25,681,249	28,975,547
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,141,432	4,121,714
その他（純額）	1,863,790	1,882,976
有形固定資産合計	6,005,223	6,004,690
無形固定資産	154,228	160,737
投資その他の資産		
その他	1,885,121	1,927,623
貸倒引当金	△88,212	△86,021
投資その他の資産合計	1,796,909	1,841,602
固定資産合計	7,956,361	8,007,030
資産合計	33,637,610	36,982,577
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,753,393	20,543,947
短期借入金	5,585,000	2,438,583
未払法人税等	135,645	421,983
その他	870,904	1,290,980
流動負債合計	21,344,943	24,695,493
固定負債		
退職給付引当金	1,001,601	991,774
役員退職慰労引当金	211,930	208,530
その他	73,707	75,442
固定負債合計	1,287,239	1,275,747
負債合計	22,632,183	25,971,241
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,267	1,491,267
資本剰余金	1,752,037	1,752,037
利益剰余金	7,709,434	7,681,619
自己株式	△65,839	△65,748
株主資本合計	10,886,900	10,859,175
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	54,251	98,333
評価・換算差額等合計	54,251	98,333
少数株主持分	64,275	53,826
純資産合計	11,005,427	11,011,336
負債純資産合計	33,637,610	36,982,577

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)
売上高	10,228,674	12,612,032
売上原価	8,488,217	10,639,445
売上総利益	1,740,456	1,972,586
販売費及び一般管理費	1,541,592	1,678,278
営業利益	198,863	294,308
営業外収益		
受取配当金	8,903	11,376
受取家賃	12,870	12,761
その他	3,128	3,225
営業外収益合計	24,902	27,363
営業外費用		
支払利息	14,842	11,394
投資事業組合運用損 為替差損	8,447	6,777
その他	—	4,936
その他	199	11
営業外費用合計	23,489	23,120
経常利益	200,275	298,551
特別利益		
貸倒引当金戻入額	17,649	9,403
特別利益合計	17,649	9,403
特別損失		
投資有価証券評価損	14,720	—
その他	79	330
特別損失合計	14,799	330
税金等調整前四半期純利益	203,126	307,623
法人税等	85,882	129,303
少数株主損益調整前四半期純利益	—	178,320
少数株主利益	—	10,572
四半期純利益	117,244	167,747

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	203,126	307,623
減価償却費	45,364	45,979
売上債権の増減額 (△は増加)	4,912,616	3,113,206
たな卸資産の増減額 (△は増加)	277,546	580,972
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,955,752	△6,023,820
その他	△266,772	△344,241
小計	△783,871	△2,320,279
法人税等の支払額	△366,416	△388,460
その他	△4,521	495
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,154,809	△2,708,244
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△31,849	△36,422
その他	△16,881	5,605
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48,731	△30,816
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,490,000	3,150,000
配当金の支払額	△90,035	△100,762
その他	△3,701	△5,679
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,396,262	3,043,557
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,192,722	304,496
現金及び現金同等物の期首残高	1,002,119	2,352,426
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,194,842	2,656,923

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年6月1日 至平成21年8月31日）

	種苗事業 (千円)	花き事業 (千円)	農材事業 (千円)	施設材事業 (千円)	造園事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	1,618,193	2,226,468	4,615,868	1,714,794	53,351	10,228,674	—	10,228,674
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	11,382	18	607	4,271	—	16,278	(16,278)	—
計	1,629,575	2,226,486	4,616,475	1,719,065	53,351	10,244,952	(16,278)	10,228,674
営業利益又は営業損失(△)	293,863	△36,256	127,102	11,756	△6,360	390,105	(191,242)	198,863

（注）１．事業区分の方法

売上集計区分によっております。

２．各事業の主要製品

事業区分	主要製品
種苗事業	野菜種苗、飼料作物種子、緑化工事用種子、ウイルスフリー種苗
花き事業	球根、花苗、家庭園芸用資材
農材事業	農業用薬品、被覆肥料
施設材事業	農業関連資材、温室・養液栽培システムの設計施工
造園事業	造園・土木工事の請負施工

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年6月1日 至平成21年8月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年6月1日 至平成21年8月31日）

海外売上高は、いずれも連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

〔セグメント情報〕

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、商品・サービス別セグメントから構成されており、「種苗事業」（野菜種苗、飼料作物種子、緑化工事用種子、ウイルスフリー種苗）、「花き事業」（球根、花苗、家庭園芸用資材）、「農材事業」（農業用薬品、被覆肥料）、施設材事業（農業関連資材、温室・養液栽培システムの設計施工）、及び造園事業（造園・土木工事の請負施工）の5つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自平成22年6月1日 至平成22年8月31日）

（単位：千円）

	種苗事業	花き事業	農材事業	施設材事業	造園事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	1,641,713	2,323,977	6,138,575	2,445,975	61,792	12,612,032
セグメント間の内部売上高又は振替高	10,891	8	73	6,796	—	17,768
計	1,652,604	2,323,985	6,138,648	2,452,771	61,792	12,629,800
セグメント利益又は損失（△）	295,626	△41,711	171,977	71,680	△3,621	493,951

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	493,951
全社費用（注）	△199,643
四半期連結損益計算書の営業利益	294,308

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（追加情報）

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。